電機・情報通信

自社製品投入・人材育成に力

厳しい経営環境に対応

電機・情報通信業界では、国内の需要増が見込める製品にシフトする生産体制の構築や既存技術を活用した自社製品の投入、高い技術力を持つ人材の育成など、生き残りをかけた取り組みが目立つ。各社とも総合力を高め、厳しい経営環境を乗り越えようとしている。

日本電話施設は「エキスパート研修」で技術者を育成

海外生産比率５割に上げ

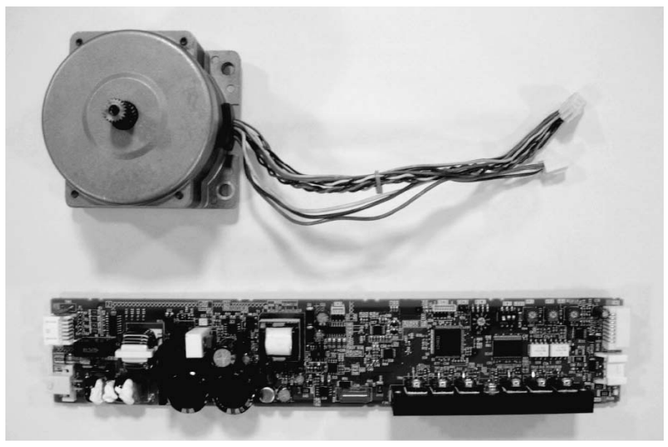
日東工業は電気自動車（EV）用充電スタンドや太陽光発電用集電盤、携帯電話基地局用設備など、国内での成長が見込める製品を増産する。「2012年3月期で充電スタンドは台数で数十倍を、基地局などの情報通信関連は大型案件を除いても2ケタの伸び率を見込む」（山本博夫社長）と期待は大きい。主力製品のブレーカーの海外生産移管で余力が生まれる名古屋工場（愛知県長久手町）を中心に、能力増強を急ぐ。

一方、ブレーカーは名古屋工場からタイ工場（アユタヤ県）へ生産移管を進める。電流容量が50アンペア以上と同社の製品群の中では大容量で主幹回路用機種を中心にタイ工場に移管する。大容量の機種は1機種当たりの生産数量が比較的少なく、手作業の工程が一部ある。人件費の安いタイへの移管で生産コストを低減する。

タイ工場は3月に床面積を3800平方メートル増の1万平方メートルに拡張した。海外生産比率は現在の3割から、12年末までに5割に引き上げる。

名古屋電機工業は1月にプリント基板検査装置を生産するオプトエレクトロニクス事業部を三重県桑名市の製造拠点から美和工場（愛知県あま市）に移管した。美和工場の主力事業である道路情報板などの事業と、開発や調達で相乗効果を見込む。

オプトエレクトロニクス事業部は画像処理とX線によるプリント基板検査装置の製造が主力。美和工場には同社の全製品を担当する技術開発室があり、検査装置の性能評価試験の一部も手がける。集約で開発効率を上げるとともに、部材調達の共通化で調達コストの半減を目指す。



旭産業が自社ブランドで発売した自動ドア用駆動装置

また、デモ機の設置スペースは従来の5台から12台に拡張した。デモ機にCADデータから検査用プログラムを半自動で作成するプログラムも導入し、より多くのデモができるようにした。

電子基板の技術生かす

旭産業（愛知県春日井市）は自動ドア用駆動装置を自社ブランド製品として発売した。モーターや電子基板の製品で培った技術を生かし、日本自動ドア（東京都中野区）に納入していた製品を独自に高性能化・小型化した。自動ドアメーカーのほか、工作機械用自動扉、家庭用小型エレベーターの扉などの用途を開拓、14年までに新機種だけで月産1000台を目指す。

同装置はモーターの高トルク化やモーターにかけられる電圧を高めた。開閉可能重量は従来比40キログラム増え、1枚扉で100キログラム、2枚扉で120キログラム。また基板実装の高密度化などにより制御基板面積を従来比3割削減し、ドアのレール部分などの天井面に設置できるようにした。

テスミック（名古屋市守山区）は家電向けプリント基板を増産するため、3月に静岡工場（静岡市葵区）の生産設備を増強するとともに静岡第二工場（同）を稼働。年産能力を従来の4倍にあたる300万枚に引き上げた。

同社は回路設計から基板の製作や実装、検査までをすべてカバーできる技術を持つ。「総合力があることで取引先での存在感が高まっている」と竹平勝一社長は自信をみせる。今回の増産で正社員20人とパート従業員30人、派遣社員30人を新たに採用。両工場合わせた人員は110人にまで増えた。

プリント基板増産へ３月に稼働したテスミックの静岡第２工場

多能工化で工事範囲拡大

シーキューブは光通信設備や携帯電話基地局の工事で、工事期間短縮につながるノウハウの確立や多能工の育成に注力している。工事作業の標準化や工具の改良などを現場中心に開発。光ケーブルの接続工事では、2人1組の1チームが1日に施工できる件数が6件と、10年前の倍に増えた。さらに多能工化で一人当たりの工事範囲を広げている。これからも「当社と顧客の双方がメリットを得られるサービステクノロジーを高めたい」（片桐清志社長）と意気込む。

こうしたノウハウや人材を生かし、新規分野として、通信設備メンテナンスの受注増を目指す。主要取引先のNTTグループが合理化策で人員を減らしていることもあり、受注環境は追い風だ。メンテナンスを請け負っているのは愛知県の名古屋地区と岐阜県の東濃地区だけだが、愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県で受注エリアを広げる考え。

日本電話施設は高い技術力で通信工事を指揮する管理技術者の育成に注力している。同社の管理技術者の年齢構成は55歳以上の社員の割合が高く、後継者の育成が急務だ。管理技術者の数が多ければ、全社の工事受注可能件数が増える。「520人という管理技術者の現在の数を維持したい」（伊藤卓志社長）。

管理技術者の資格取得には実際の工事現場で管理の経験を一定期間、積む必要がある。同社では技術者を定期的に管理の経験ができる現場に配置し、計画的に管理技術者を育成している。

また将来への布石として20代後半から30代前半の中核社員を対象にした研修「エキスパート研修」を行っている。各自の専門性を高めつつ、サービスを停止せずに通信ケーブルを切り替える技術など通信工事にかかわる全技術を習得し、工事全体を1人でできるようにする。毎年約20人が研修施設「テクノロジー総合センタ」（愛知県犬山市）で10カ月間の長期研修で技術を磨いている。

日本街路灯製造（名古屋市熱田区）は発光ダイオード（LED）照明のデザインや製作を担う人材の育成支援を始めた。NPO法人あかりの架け橋（横浜市磯子区）が始めた人材育成塾「LEDあかり塾名古屋」に日本街路灯豊明工場（愛知県豊明市）を会場として提供する。

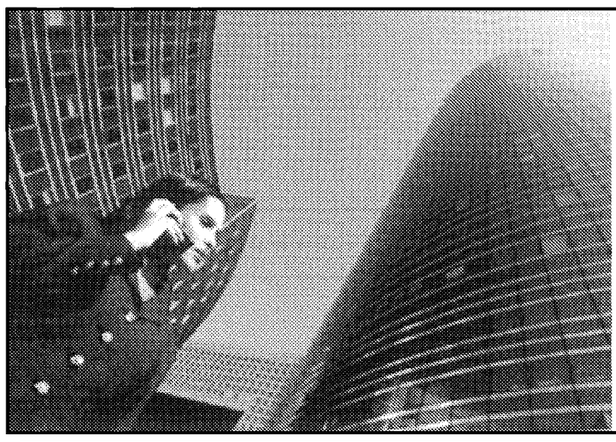
講師は同NPO法人の理事長で照明デザイナーの落合勉氏。4月から12年6月までの計16回、豊明工場の照明器具の性能評価施設を活用してLEDの特性を生かしたデザインなどを教える。参加者は日本街路灯や中部地区の照明器具メーカーの社員など計14人。12年6月以降も名古屋で継続するほか東京や大阪でも始める方針だ。

総合力高め生き残り

東日本大震災の被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
ICT技術で未来と響きあう。
私たちNDSグループは新たなステージへ向けこれからもチャレンジし続けます。私たちは、すべてのお客様の「満足」のために、情熱をもって、信頼の技術と品質を提供します。
VoIP　LAN・WAN　ICT　NDS分譲住宅　CATV　通信機器　防災・セキュリティ　CTI　VOD　ITS　地域情報ネットワーク　移動体通信　建物内電気設備　通信ネットワーク設備　光アクセスサービス
Challenges in the Next Stage
NDS
本社／〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目15番18号 TEL052-263-5011 www.nds-g.co.jp
日本電話施設株式会社

人と技術と感動通信
シーキューブ株式会社
東日本大震災で被災された方々へ心からのお見舞いを申し上げます。
人を優しく包む、未来への技術です。
空の青さが好きです。人が好きです。そんな心の通った技術で未来を創造します。
C・CUBE　〒460-0018 名古屋市中区門前町 1番51号
TEL:052-332-8000　URL:http://www.c-cube-g.co.jp

きっと あなたの そばにも。
にっぽんとくしゅとうぎょう
暮らしに、社会に、環境に。見えないところであなたを支えています。
イリジウムMAXプラグ　燃費も加速もアップ！しかもロングライフで高性能が長く維持します。経済的で環境にも優しいプラグです。
全領域空燃比センサ　毎日乗るクルマの空気と燃料の比率を最適に。排気ガスのクリーン化や燃費の向上に役立っています。
セラミックパッケージ　水晶振動子やSAWフィルター用として、携帯電話や基地局などで使われるパッケージ。機器の小型・多機能化に貢献。
人工骨（頭蓋骨材料）　セラミック技術は医療分野でも活躍中。骨折や骨腫瘍などの欠損を補う治療に使われます。
セラミック工具　金属を削ったり、穴を開けるのに使います。耐熱性に優れ、冷却水や油も不要でエネルギーも削減。
■自動車関連事業／地球環境に対応した高度な製品を車へ、社会へ。
■情報通信関連事業／先進技術で大容量・高速伝送時代をバックアップ。
■セラミック関連事業／新素材と、応用技術で時代のニーズに応えます。
NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック　日本特殊陶業
www.ngkntk.co.jp 〒467-8525 名古屋市瑞穂区高辻町14-18 広報課 TEL(052)872-5896 FAX(052)872-5999



ネット社会の中でも、
心のふれあいを大切にしています。
川北電気工業株式会社
営業品目　電気設備・送電線・地中線 設計施工／電気機器材料製造加修販売／電気計装設計施工／
本　社／〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目6番25号
電話（052）251－7111（代表）
支　社／東京・大阪・静岡・九州・東北 他
営業所／福島・茨城・栃木・埼玉・千葉・横浜・豊橋・豊田・岐阜・三重・中国 他

技術を磨き、心をつなぐ
FUJIMI
FUJIMI INCORPORATED
貴社のとなりにいつもいたいから。
超平坦加工のソリューションカンパニー「フジミ」からの新提案。
高品質「サーメット溶射材」の開発からユーザーの技術サポートまでをトータルコーディネイト。
フジミのソリューション
溶射でお困りの方
・サーメット&セラミックスなど　・技術アドバイス
・安定した品質　・皮膜解析アシスト
・高付着効率　・アプリケーション開発
株式会社フジミインコーポレーテッド
本社 〒452-8502 愛知県清須市西枇杷島町地領2丁目1番地1　TEL 052-503-8181　FAX 052-503-6166
溶射材事業部 〒509-0103 岐阜県各務原市各務東町5-82-28　TEL 058-379-3088　FAX 058-385-4853
http://www.fujimiinc.co.jp
ISO 9001 認証 JQA-0518　ISO 14001 認証 JQA-EM0794